

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 グループホーム なかよし

ユニット名 A・B棟

自己評価実施年月日 平成 20年 12月 31日

記録者氏名 榎本 明美

記録年月日 平成 20年 12月 31日

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>これまでの理念を見直し、ホーム独自の理念に加えて地域で利用者が安心して暮らし、地域支援の継続できる理念に改正し、現在ホームならではのアイデアで理念に沿った取り組みを行っている</p> <p>理念 私達は、入居者様達が自然や地域の方達と触れ合いながらホームならではのアイデアで安心してその人らしさが発揮できる日常の支援を行い、素朴で温かく、ほっと安らげるグループホームを目指していきます。</p>	<p>取組んでいること</p> <p>1；定期的に地域のボランティア団体による踊りの会を企画開催している「地域の方を招待」</p> <p>2；地元保育園との触れ合い交流</p> <p>3；通院可能な方は職員同行で定期受診に出向「院内待合での知人との交流」</p> <p>4；近隣神社に散歩がてら草引きや落ち葉拾い</p> <p>5；週2回地元量販店への食材購入</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>1・毎朝のミーティングの後に理念を唱和後、利用者様に挨拶を行っている</p> <p>2・日常的に理念に沿った支援を心がけ、毎月の定例会議の中でも関連した事を話しあったり、勉強会を行っている</p> <p>3・毎月企画者を決めて様々なイベントを行っている</p> <p>4・デイ職員と定期的に勉強会及びイベント企画を行っている</p>	<p>取組んでいること</p> <p>1・本人の得意分野・興味のあることで、役割的に意識づけが出来るよう支援している</p> <p>2・毎食前の上半身運動及び口腔体操を行っている</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>1：毎月の請求書に同封してイベント案内状・地域とのふれあい状況等の近況報告を担当者が自筆で送っている</p> <p>2：家族会を通じて近況報告事項を行っているとともに、理念に沿った取り組み方を報告する機会を設けている</p> <p>3：定期的なホーム便り・イベント案内状等を発行し、近所知人・各官公署に配布したり、送付したりして理解して貰えるよう努力している</p>	<p>1：運営理念は、誰もが目につく壁に掲示してあり必要に応じて来訪者や家族等に説明をしている</p> <p>2：運営推進委員の中に地元の方がおられるので、その方達を通じて地域の方達に理解して貰えるよう働きかけているし、協力もして貰っている</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>1；屋外散歩や徒歩通院の際に近所の方から声をかけて下さり挨拶や会話が出来る</p> <p>2；近所の方が時々来訪されて、利用者様達と歌や会話をして下さっている・花や野菜等も持ってきて下さっている</p> <p>2；定期受診の待合で声をかけて下さったりする</p> <p>3；出勤・退勤時に会おうと挨拶をしている</p>	<p>取組んでいること</p> <p>1：週2回量販店の買い物に出かけた時に気軽に声をかけてくださる機会を継続している</p> <p>2：散歩の際にイベント等の案内をしている</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>1：町内会へ加入し、毎月広報誌が配布されている</p> <p>2：ホーム主催のイベントに近所の方を招待し、毎回数名は来訪され利用者達とも馴染みになっている</p> <p>3：中学校・市町村等の主催による研修場所としてホームを活用して頂いている</p> <p>4：保育園主催のイベントに招待されたり、招待したり市主催のイベントに参加</p>	○

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	1: 実習生の受け入れ、職場体験を通じてホーム職員も一緒に向上するべき終了後反省会を開いている 2: 運営推進会議の中で、内部外部研修会実施内容を報告し、運営推進委員に理解や接し方について理解をし貴い地域へと働きかけを行っている	○	取組んでいきたいこと 地域住民に認知症への理解や接し方の勉強会を行ってほしい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	1: 認知症ケアの質の向上を目指すため定期的に職員の自己評価を行い結果は職員会議で話し合っている 2: 外部評価で指摘または改善すべき点は、職員会議の中で講評し、改善すべき点検討すべき点は話し合い出来る部分から改善する努力をしている [理念改正/防災訓練実施; 非常時の備蓄/献立を定期的に栄養士にチェック/室内装飾]については実施済み		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	1: 会議では、入居者状況・職員状況・折々の行事・内部外部研修報告等資料を配布し、補足説明しながら意見交換している・また提案点や質問等会議内容を議事録として残り職員に会議などで報告話し合いをしている・提案点などは次回の会議に取り入れ報告している 2: 会議の中で外部評価結果報告し、改善策や前年度の評価結果等経過報告も行っている		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	1: 運営推進会議だけではなく、必要に応じて事業所の実情やケアサービスの取り組み方などアドバイスを受けたり、報告したりしている 2: 市職員の計らいで地元同業者との情報交換会を行っている		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	1: 管理者及びリーダーは、関連研修に参加して講義を受け、おりに触れ説明したりしている 2: 必要対象者に対して市職員を介して本人と面談した経緯がある	○	取組んでいきたいこと 管理者リーダーのみではなく、関連研修があれば職員も参加して貴い理解を深めていきたい
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	1: 管理者やリーダーのみではなく、職員も関連研修に参加している。またその他職員にも周知徹底するよう研修結果を報告及び勉強会を行っている 2: 資料のみではなく、研修報告書として記録に残し勉強会の時に活用している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	1：管理者が契約時に具体的に説明し、改訂をする場合は、その根拠理由を丁寧に説明し承諾して頂いたうえで契約をして貰っている 2：契約時にホームの取り組み方等を具体的に説明している 3：利用者の状態変化により契約解除に至るまでに家族と段階的に対応方針等を検討しながら相談をしている		質問事項や契約の中で理解しにくい事柄は事例を上げて説明をして行くように心がけている
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1：利用者の言葉や態度から心の中を察知するよう、申送表などを活用し情報共有を行い、職員が同じケアをすることを心がけている・またそれぞれの方が不満・不服を言葉で表現できるよう職員との信頼関係が構築するよう働きかけている 2：会話の中で食べたい物や行きたいところを折に触れ聞きだして出来るだけ要望に答えるよう努力している	○	取組んでいきたいこと 1：利用者の意見や要望等を家族が訪問時に職員が報告し、家族と協力して利用者の要望を出来る範囲で叶える事ができるよう努力していきたい
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	1：家族等の来訪時には職員が本人の状況等を報告している 2：毎月担当職員による本人の近況報告を手紙で送っている 3：請求書と共にバイタルチェック表・ホームの行事予定金銭出納表・領収書送っている・また小遣い預かり時は預かり書を交わしている ：；臨時受診や必要に応じて常に連絡を取り合っている 又その結果等も連絡し記録に残している		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1：家族が来訪時に職員から話かけ、意見や要望が出しやすいように心がけている・出された意見や要望は職員会議で話し合い出来るだけ取り入れる様にしている 2：毎月の送付している行事予定のほか備考欄として報告し家族会や訪問時に意見が出しやすいようにしている 3：ホーム入口に意見箱を設置している 4：介護保険施設全体の苦情解決委員会を設置し、職員2名加わり話し合いや検討会を初回実施済み	○	取組んでいきたいこと 1；苦情解決委員会を設置したばかりなので、確立して行きたい
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1：月1回の職員会議や臨時的なミニ会議・リーダー会議などで意見や要望が出しやすい雰囲気作りを努力している 2：必要に応じて記述式アンケートを配布し意見を記入して貰ったりしている 3：折に触れ職員に管理者自ら話しかけたりして意見や要望を聞く事を心がけている 4：職員の要望などは受け止めて運営者と話し合ったりしている		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	1：利用者との相性や状態やペースに合わせたローテーションを組んでいる 2：勤務変更・パート雇用で必要な調整を可能な範囲で行っている。 3：新人職員は、いきなりシフトに入れず補助期間を設けている 4：夜勤者や職員の勤務シフトは管理者が検討している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	1：異動する前に事前に勤務に入り利用者との信頼関係が出来るようコミュニケーションをとっている 2：主任・副主任を核として職員が変わる時は引き継ぎを十二分に行っている 3：誓約書にのっとって出来るだけ1ヶ月前に離職の申し出をして貰っている 4：利用者に馴染んで把握できている職員が支援にあたるように最小限の移動をしている		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	1：毎月の定期職員会議で勉強会を行ったり、合同内部研修を行ったりしている 2：ケアに必要な外部研修があれば職員1名は参加して貰うようにしている・また研修報告書や資料をもとに全体で勉強会を行っている		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	1：3ヶ月に1回地域のグループホームとの情報交換会を行っている。 2：市主催の同業者との交換会の中で、事業所外の人材の意見や提案を職員間で話し合いケアに活用するよう努力している	○	他グループホームへの見学や相互研修会を情報交換会において働きかけて行きたい
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	1：不定期だが無記名で記述式アンケートを配布し回収し管理者から運営者に報告し、改善点を検討して貰っている 2：休憩場所が確保されており、職員間で悩みや意見等を話す事が出来るようにしている 3：必要に応じて各自面談を行う時がある		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	1：職員の勤務状態や勤務条件について把握している考慮する努力をしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	1：利用される前に事前に面接の機会を持ち意思疎通を図り、顔馴染みの関係を作るよう努めている 2：入居後も不安感を募らせることがないよう、受容共感傾聴を心がけ質問や要望等に応じている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	1：利用前にホームの見学をして貰い、生活の実態を視察して貰った上で決定して貰っている 2：見学の際に管理者及び熟練職員が質疑応答し、納得出来る説明を心がけている 3：入居申し込み書送付の依頼ある時や見学時にパンフレットを送付または手渡し、把握して貰っている 4：面談時にこれまでの経緯や本人の状態等をゆっくり聞くようにしている	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	1：相談時、本人や家族の思い、状況等を確認し、必要があれば他のサービス利用をアドバイスや紹介をしている	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	1：周囲の人的物理的環境に徐々に慣れ、馴染んで頂くために少しずつ状況を見据えながらサービスを受け入れて貰っている 2：面会時や手紙等で家族に生活状況を伝え意見や協力をして貰い、協同で本人の生活を支える努力をしている 3：本人の好きなこと、興味のあること、生活習慣等は出来るだけ優先し受容している	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	1：本人の話す言葉の意味を考え喜怒哀楽を分かち合い同じ目線で共に生活している協働者として接する事を心がけている 2：普段から利用者に教えてもらうこともあり、職員たちも共に学んで行くことも多々ある(懐メロを通じて当時の出来事を教わる/縫い物を教わる/生け花を教わる/昔からの風習を教わる/四季々の伝統行事を教わる等)	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	1：イベントや家族会に参加を呼びかけ、その中で利用者の様子や職員の思いを伝え、家族との協力関係が築ける事が出来るよう働きかけを行っている 2：本人の生活歴や家庭状況、生い立ちから理解を深め本人や家族間に亀裂が生じないよう配慮している	○	取組んでいきたいこと 家族会やイベントに家族が大勢参加できるように努力していきたい
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	1：早朝より夜間就寝までいつでも来訪出来るように面会時間の制限を設けていない 2：家族や親類の外泊や外出を身元引受人の承諾があれば行って貰っている・また外泊期間や外出時間の制限をしていない。事前に連絡し、承諾をして貰っている 3：面会時に事前に本人の心身状況を報告し、状況に合わせて対応をして貰っている		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	1：希望に応じて自宅への立ち寄り・通院・近隣散歩市内量販店への買い物などを通じて、知人との会話などやホームへ遊びに来られたりして、交流が出来る機会は持っている 2：市主催のイベントに出かけたりした時に知人に合い会話が出来る事が多々ある		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	1：毎日のお茶時間や食事時には職員も一緒に食卓を囲み同じ食事を摂っている。食後の団欒を心がけている 2：隣棟から利用者がほぼ毎日遊びに来たり、遊びに行ったりお互いに交流を持っている 3：自室での会話やリビングで会話したり、職員が間に入って孤立化しないように配慮はしている		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	1：ホーム主催のイベントに招待したり、退居後もその後の経過等について連絡を取るようにしている 2：入院中も度々訪問したり、家族とも連絡をとりあったりしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1;意思疎通の出来る方については、雑談やコミュニケーションを取っていく中で、その方の意向や希望を見出しそれについて検討・努力している 意思疎通の難しい方については、家族、職員間で話し合い検討している 2;以前の生活スタイルを維持すべく、生活環境や設備作りに努めている 3;家族や関係者から、その方の希望や意向の情報を得る様になっている	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	1;家族からの話や、それまでのサービス利用があればその事業所との連携による情報をもとにフェースシート等の資料を作成し職員全員が把握できるようにしている 入居後は個人記録と職員の連携により記載・把握に努めている 2;利用前に自宅または入院先に訪問し、本人や家族、関係者などから聴き取るようにしている	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1;個人記録、業務日誌等各々記載し、職員間の連携申送表等の活用により総合的に把握するように努めている 2;利用者とともに暮らす中で、各自の生活パターンを把握し、本人の出来ること・出来ない事を全体像から把握するようにしている	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	1;家族訪問時又は電話で意向伺いした上で、本人の言葉から思いや意見を考え担当者含む職員で意見交換やモニタリング・カンファレンス・アセスメントで検討し介護計画の作成に努めている。 2;出来るだけ家族訪問時にミニカンファレンスを行うよう配慮している・その後再度職員間で再検討をしている 3;心身状況等に变化があれば見直しを検討している	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1;ケアプランに添って支援を行い、新たなニーズ、問題点が生じた場合はその都度、また定期的な会議やカンファレンスにおいて長期・短期目標・計画等職員間で話し合い、現状に即した計画になるよう努めている 2;個人記録で状態変化や状況等を把握し、変化に応じて見直し検討を行っている	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1; 日々個人記録に記入し申送表の活用、職員間の連携にて職員間で情報を共有しているが、新たな問題点、ニーズ等発生した場合臨時のカンファレンスで経過記録を活用するなどしている 2; 食事・水分量・排泄等身体的状況及び日々の暮らしの中で本人が発言する言葉等を個人記録に記載し、職員間の情報共有の徹底に努力をしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1; 利用時に本人または家族の状況を考慮して話し合いの元定期受診に通院か往診を決め、通院の場合職員が付き添いで外来受診をするなど支援をしている 2; 外泊や外出などは、本人や家族の状況・要望に応じ実施している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	1; 地元ボランティア団体の定期的な訪問や保育園との交流や中学校の職場体験やホームヘルパー実習受け入れなど本人と地域との接点を見出す事に努めている 2; 消防署等などは普段から連携を取っている		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	1; 定期的なケアマネ会に参加して、事業所以外のサービスを必要な時に連携が取れるよう出来るだけ参加を心がけている 2; 利用前の相談等で連絡を取り合ったり、本人に必要な情報交換を行ったりしている・特に協力医療機関には本人の体調変化に応じて、その都度相談をしている		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	1; 必要な利用者に対して地域包括支援センターに相談に行ったり、適切なアドバイスを受けたりしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>1; 家族及び別の事業所や施設の職員等と面談を行い相互の相談・話し合いにより、より良い方向に持っていけるよう検討している</p> <p>2; 介護サマリーや連絡文書などで情報提供し、環境変化によるダメージを最小限にとどめるよう努めている</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>1; 介護保険施設合同で内部研修を行い個人情報保護法の理解や秘密漏洩防止の勉強会を行っている</p> <p>2; 苦情解決委員会を設置し、定期的に勉強会を行う事と、そのつど話し合いを持つこととなっている</p> <p>3; 定期的または臨時的職員会議で必要に応じて話し合いを持ち、改善に向けて努力をしている</p>	<p>○</p> <p>取組んでいること</p> <p>1; 居室及びトイレ入室時は、予め本人の承諾を貰い訪室</p> <p>2; 個人記録には他者の氏名は記載しない事を徹底</p> <p>3; 居室入口には固有名詞は明示せず、工夫している</p> <p>4; 職員と誓約書を交わしている</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>1; 重度の利用者にも全ての支援前に必ず本人の意思を確認している。</p> <p>2; 本人の得意分野や興味のあるものを生活の中で見出し自己選択で無理強いせず行って貰う事を心がけている</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1; 各利用者の生活パターンを尊重し、基本的な1日の流れは持っているが、本人のペースに出来る限り合せている</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>1; 定期的に行きつけの美容院・理容店へ出向(職員又は家族同行)</p> <p>2; 本人の習慣を尊重している・また自己決定がしにくい利用者には職員が支援をしているが、本人の好みの服を選択してもらうべく表情や態度で判断している</p> <p>3; 衣服の乱れや不十分な着方は話しかけながらさりげなく直している</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1; 利用者も職員も一緒に食卓を囲み同じものを食べている 2; 調理・盛り付け・片付け等を利用者と共同で行っている 3; 食事運び・下膳等歩行可能な利用者は職員と一緒に 行っている 4; 献立は職員が行っているが、出来るだけ利用者の 好みを聞いて取り入れる事をしている・		取組んでいること 1; 各利用者の好き嫌いを職員が把握しており、調理の時に別の副食で対応している 2; 利用者の嚥下状況や食べ具合・自歯なしの方等咀嚼し易いように、半粥や刻み副食など食べやすいように工夫している
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	1; 10:00にコーヒーを出し、嫌いな方には本人の好みの飲み物を摂って貰っている・また3:00には皆さんが好むおやつを摂って貰っている 2; 毎月皆さんに好評のミニ喫茶を行い、職員の手作りによるおやつを自己選択により各自自由に摂取して貰っている		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	1; 排泄の自立の可能性のある利用者には時間を決めてトイレでの排泄誘導をし、日中布パンツ+パットで過ごす事で自主的にトイレへ入室したり、尿意のない方がトイレで排泄する事が出来る様になってきた 2; 重度の方でも日中トイレで排泄したりP-トイレで排泄支援する事を徹底している 3; オムツ外しに努力している		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1; 毎日声かけし、本人の希望する時間や仲の良い方と入りたいなどの希望を尊重している・またその時の体調にも配慮して職員が見守りや支援をしている 2; 入浴実施表に記載して、その方の入浴パターンを把握し、誘い方の工夫をしている 3; 拒否のある方や脱衣拒否のある方にはチームプレイで支援をしている	○	取組んでいきたいこと 入浴拒否や脱衣拒否の原因を探究しながら、気持ちよく入ってもらえる努力をして行く 取組んでいること 血行の悪い利用者には毎日足浴を行っている
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1; 自分のペースで日中仮眠を取られる利用者には、タイミングを見て声かけし、出来るだけ離床時間が長くなるよう本人の興味のあるものに参加して貰っている 2; 居室の温度調節をしたり、穏やかな精神状態で安眠出来るよう付添い会話したりすることを心がけている 3; 各利用者の就眠時間を職員が把握している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1; 各個人の趣味や得意分野を教わったり一緒に行ったりして、本人の役割や意欲の向上に努めている 2; 利用者それぞれの意思で個別レクや楽しみ事を行っている 3; 定期的なボランティアの踊り鑑賞・散歩や外出など気晴らしや楽しみ事があるよう支援をしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	1; 買い物や受診後の支払は本人に行って貰い、職員と一緒に釣銭確認を行い、レシートは預かっている 2; 本人の希望で家族と相談し、自己所有の金庫を居室内に置き、鍵は預かり、家族が来訪したときに本人と家族が確認している。また小額は自分の財布に入れて手元に持って貰っている利用者もいる	
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	1; 要望に応じて神社や寺詣り・車でドライブ、花見などに出かけている。また外出を好まれない利用者も連鎖反応で出かける事が多い 2; 徒歩通院の可能な利用者は天候や季節・体調に配慮しながら近隣の行きつけ病院に行き、外界の刺激を肌で感じて貰っている	
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	家族の申し出により、出身地の祭りや親類の集まりなどに出かける機会を得ている	
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	1; 毎週家族から電話があり会話される方もいるが、殆どの利用者は自分からは要求されない・また一部の利用者に電話の要求があっても家族の希望もあり、帰宅願望を煽らないように制限されている 2; 家族からの手紙や外部からの手紙は時々届いている	
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	1; 訪問時間は定めておらず、個人のプライバシーに配慮し個室にて会話して貰っている 2; 訪問された時は笑顔で挨拶する事を心がけている 3; 家族が本人との接し方に戸惑いがないように、間に入って会話し易いきっかけ作りをする事を心がけている	
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	1; 外部研修に職員数名は必ず参加し、研修結果は職員会議や内部研修・勉強会において職員の共有認識を図っている 2; 身体拘束は行わないよう職員に周知徹底をしている 3; 職員会議で日々のケアを振り返り、話し合いを行っている	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1; 玄関先にて声かけし、本人が納得して戻る説明の仕方を工夫している。また拒否した場合は同行 2; 全居室は施錠なし 3; 日中玄関は施錠しておらず、利用者及び訪問者は出入り自由となっている		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	1; 日中はリビングにいる職員が目配り気配りを行っている・また居室で休まれている利用者には水分補給を兼ねて訪室し様子見を行っている。夜間は巡回し、トイレから居室までの移動を見守りまたは付き添いで安全に配慮している 2; 24時間利用者の安全を見守っている		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	1; 異食行為のある利用者は目配りを行い一緒に行動している・ 2; 裁縫道具や包丁等の危険な物を使用するときは、利用者の状態に応じて一緒に行ったりしている。 3; 各利用者の認知度及び精神状態に考慮し、自他に危害を与えるような物品は管理しているが、必要に応じて使用出来る様にしている		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	1; 各棟職員会議において事故防止の予防策を話し合ったり事故発生時は報告書を作成し、事故原因今後の予防対策を検討・また即座に家族及び運営者に報告している。 2; 転倒の可能性のある利用者には移動時常に付き添っている 3; 防火知識は避難訓練において担当者よりの説明及び体験で学びを得ている		取り組んでいること 1; 誤薬防止について、職員2名で日付、名前を確認後服用前に利用者に名前を確認して貰い手渡し見守りをしている
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	1; 救命救急講習を定期的に受けている。夜間時の緊急対応マニュアルを作成し、職員がいつでも見る事が出来る場所に掲示		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	1; 年2回以上定期的に消防署の協力を得て火災避難訓練や防災訓練を利用者とともにっており、初期消火・避難経路の確認; 消火器の使い方などを教わり、訓練後課題点等を検討し、次回につなげている 2; 災害に備えた備品等を確保済み 3; 地域の方には運営推進委員を通じて働きかけをしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	1; 日常生活状況から把握できるリスクについては、家族が 訪問時に説明し相談や話し合いの中で承諾を貰っている 2; 管理者が契約の時や必要に応じて連絡したり、その都度 話しあったりしている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	1; 食事量・水分摂取量・バイタルチェック・表情や態度等 いつもと違う変化を職員が察知し、早め早めの対応を 行い重病にならないように主治医または看護師に連絡 相談をしている 2; 少しの変化を見逃さず変化があれば申送表等で職員 全員に伝達し情報を共有している 3; 経過記録で本人の状態を記録し、受診または医師に相談 する時に具体的に説明をして適切なアドバイスを受けている		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	1; 薬の内容(目的・用法・用量・副作用)について職員全員 が把握するよう勉強会を行い、また薬が変更になった場合 申送表に記入のうえ口頭説明も行っている 2; 薬の処方や用量が変更した場合は、本人の状態経過や 変化等の記録を医療者や家族に情報提供をしている 3; 服薬については、職員2人対応で確認、本人に説明の 上納得して服用して貰っている		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	1; 水分・食事・活動量と排便の関係等必要な知識を持つ ために関連研修の機会があれば職員が研修を受ける事に 努めている 2; 便秘薬の長期常用化を防ぐために主治医と相談のうえ 調整したり、食材の工夫や身体を動かす働きかけをして いる 3; 水分補給量をチェックし、少ない時は代替え品で対応	○	取組んでいること 1; 毎食前の上半身体操・食事運び・下膳等各自で取りに 行ってもらう支援 2; 水分摂取に摂取し易い工夫をしている[毎食汁ものを つける/好みの飲み物やゼリー状で対応] 3; 重度化してもトイレで排泄
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている	1; 毎食後の嗽や歯磨きの励行(その方の力に応じて見守り や支援を行っている) 2; 毎夜義歯洗浄後取り外して貰い管理及び週1回ポリデント につける 3; 必要に応じて歯科医院に受診し、適切な口腔ケアの 方法や関連研修で知識を得て勉強会を行い職員が共通 認識を持つように心がけている		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	1; 水分摂取量や食事摂取量を各個人記録に記録し、職員が 情報を共有 2; 個人の咀嚼力・嚥下力等に応じ、刻み食等で対応し、 色彩や食器等も考慮しながら献立の工夫をしている 又献立は定期的に知人の栄養士にバランスやカロリー等 アドバイスをもらっている 3; 各利用者の状態に応じて水分摂取量を1日1000~1500を 確保できるように努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	1；事業所内で発生し得る感染症について事前に内部研修を行い学習して予防対策に努めている・またマニュアルを作成し、誰もがいつでも必要な時に見る事が出来る様にファイルに綴じて共有の場所に設置している 2；利用者及び家族に同意を得て流行前に職員全員とともに予防注射を受けている。また発生時期には予防対策を徹底するようにしている		取り組んでいること 1；居室内及び屋内の消毒液での清掃 2；日替わりで各利用者の布団干し等を行っている
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	1；毎食後食器及び調理器具は殺菌剤で消毒をしている 2；食材は出来る限り熱湯を通して 3；消費期限・賞味期限切れの食材は使用しない事している 4；提供した食材は冷凍庫に2週間保存している 5；定期的に台処・調理台等は消毒及び大掃除実施 6；冷蔵庫の食材の残り物の点検を頻繁に行っている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	1；階下玄関口には手摺りつきスロープを設置し、ホームまではエレベーターや手摺り付き階段で、全ての入口はバリアフリーになっている 2；ホーム入口には下駄箱を設置し、玄関と理解できる様にしている 3；訪問時間を制限していないので、出入り自由になっている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1；中庭に花壇を設けたり各要所々に観葉植物や花瓶を設置し、利用者が花を活けたりして季節感に配慮する事を心がけている 2；ホーム玄関口や利用者の希望により、各部屋に手作り暖簾を掛けたり、写真を貼付したりと個別に工夫をしている 3；光の調整はカーテンやブラインドで調整している 4；外部からの訪問者に、折に触れ気づき点や提案点などを聞いている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1；利用者の中にはソファが自分の居場所として寛いでいる方もいる・また仲の良い利用者同士が自発的にそれぞれの居室で対話したりしていることもある 2；ソファや花壇を備えて自由に過ごせる場所を確保している 3；リビング内・浴槽内・台処付近にも寛げる場所を設け、各自自由に過ごせるようになっている 4；A棟には畳の間・B棟にはテーブルとソファを設置しお互いに行ったり来たりしながら交流が毎日出来る様にしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	1; 本人が以前から使用していた寝具や家具・電化製品等 を使用している 2; 各利用者が使い勝手が良いように家族と本人が相談 しながら自分自身で整理を行っている事が多い。また 職員とともに整理整頓していても、自分で元の通りに 直している事が多い		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	1; 適宜に室温調節や窓開閉を行っており、特に掃除時間や 夜間の室温調節には巡回を行い注意を払っている 2; トイレや浴槽の排水口・洗濯機の排水口など臭気が 漂いやすい箇所は常時換気扇を回しており、排水口に ついては適宜に消臭液や消毒液で悪臭に気を配っている 3; 居室内の臭気については掃除時間に消臭剤及び ハイター薄め液で清掃を毎日行っている。窓の開閉も 適宜に行っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	1; 利用者の移動経路に手摺りを設置し、危険と思える 個所には保護をして対処している。また居室内で転倒や 怪我の可能性のある箇所は直接接触しないように対処して いる 2; 歩行不安定な利用者には家族と相談し室内で移動が 安定できるようシルバーカーを使用して移動したり、 重度の方の入浴にはキャスト付きシャワー椅子で対応 したり個々の身体機能を考慮して対応する事を心がけている		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	1; A棟各居室の扉の色を変え利用者と相談しながら部屋番号 を目印に貼り居室間違いに対処している・またB棟居室 には目印として造花や似顔絵を貼り混乱を軽減するよう 努めている 2; 自作の塗り絵を居室へ飾ったり写真を貼って居室間違い に対応をしている 3; 好きな生活作業や個別レクへの参加を通じて理解できる 力を維持していくよう対応に努めている		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	1; 外出が困難な重度の方も車いすや歩行介助で屋外へ 一緒に出たり、時には中庭に移動して日向ぼっこをしたり 外気と触れ合う機会を時々設けている 2; 中庭に花を植えたり季節の野菜を植えたり、利用者が 世話をする事の楽しみとなるような環境作りも行ってい る		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- 1; 1人1人の個性を損なわず、素朴でアットホームなグループホームを目指しています
- 2; 興味のあることや得意な分野を発揮して貰い、自力で出来る行為は尊重し、出来ない事のみ支援する事を努力します
- 3; 転倒予防に重点を置き、各自の体調維持と穏やかで、おらかな心で生活して頂く事に取り組んでいます

※利用者の皆様は、土地柄もあり、個性豊かな方ばかりで言葉は荒いが気持はまっすぐの方が多いと思います。それ故に、それぞれの個性を心に秘めず気にいらぬ事があれば言葉や態度で表現されます。理念の中のその人らしさが発揮できる…という事を実践されていると思います。